

プログラム名	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践		
プログラム実施部局	国際教育交流センター		
連携部局	言語文化研究科		
履修対象者	修士・博士		
修了要件	8単位以上	原則として1年で修得すること	
趣旨・概要	グローバル化、ボーダレス化の進展に伴い、言語や文化を必ずしも共有しない人々間でのコミュニケーションの必要性が大いに高まっています。こうした「インターカルチュラル・コミュニケーション」は、多様な価値観や思考様式への気づきを促す契機となる一方で、様々な誤解や対立を引き起こす場合もあります。このような問題は、自文化で当然とされる言語行動様式等が共有されていないことが原因であることが多いものです。本プログラムでは、現代社会の多言語・多文化化の現状やインターカルチュラル・コミュニケーションに関する基礎理論を学ぶと同時に、実際のインターカルチュラル・コミュニケーション場面で生じる問題への対処方法について、実践的な課題を通じて考えます。		
到達目標（修了時に身に付く能力）	本プログラムの目標は、上記の過程を通じて多様性への自覚を促し、地球市民としての知恵と態度を涵養することです。また、各授業での協働的な学習活動を通じて、背景の異なる他者とのコミュニケーションの際に、他者の話を傾聴し、かつ、他者への配慮ある発信方法を獲得することも目指します。		
カリキュラムの構成	専門分野にかかわらず、各人の興味関心に応じて以下の科目を自由に組み合わせて受講してください。 (1)「言語コミュニケーション論」：言語の学習・教育やコミュニケーションに関心がある人向け (2)「言語技術研究」：書記言語コミュニケーションに関心がある人向け (3)「言語文化教育論」、「言語文化政策論」：言語政策、政治・社会に関心を持つ人向け		
履修資格・条件	特に資格等はありませんが、異文化への関心が高い人もあまり関心を持たない人も歓迎します。また、現在、異文化の人とのコミュニケーションに問題を感じている人や、将来多文化的な環境の中で生活する可能性や必要性を感じる人も、受講していただきたいと思っております。なお、どの授業においても、受講者同士のディスカッションを歓迎します。また、受講者は自身の専門分野について、他の受講者に対し、可能な限り明確に、かつ平易に説明することが求められます。		
前提知識の目安	専門的な前提知識は特に必要としません。		
ホームページ 問い合わせ等	http://www.ciee.osaka-u.ac.jp 国際教育共通事務室国際教育交流センター係 (kokusai-gakusei-ryugakusei@office.osaka-u.ac.jp 内線 7118 または06-6879-7118)		
説明会の日程	■合同ガイダンス P.13『平成29年度 副専攻プログラム及び説明会予定一覧』でご確認ください。 ■各授業の初日において、オリエンテーションを行うため、受講希望者は、履修希望の授業の初日にできるだけ出席すること。		
特記事項	特になし。		

構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局(課程)	備考
		必修	選必	選択			
300255	言語コミュニケーション論A			2	春～夏学期	言語文化研究科(博士前期)	
300256	言語コミュニケーション論B			2	秋～冬学期	言語文化研究科(博士前期)	
300267	言語技術研究A			2	春～夏学期	言語文化研究科(博士前期)	
300268	言語技術研究B			2	秋～冬学期	言語文化研究科(博士前期)	
300281	言語文化教育論A			2	春～夏学期	言語文化研究科(博士前期)	
300282	言語文化教育論B			2	秋～冬学期	言語文化研究科(博士前期)	
300217	言語文化政策論A			2	春～夏学期	言語文化研究科(博士前期)	
300218	言語文化政策論B			2	秋～冬学期	言語文化研究科(博士前期)	